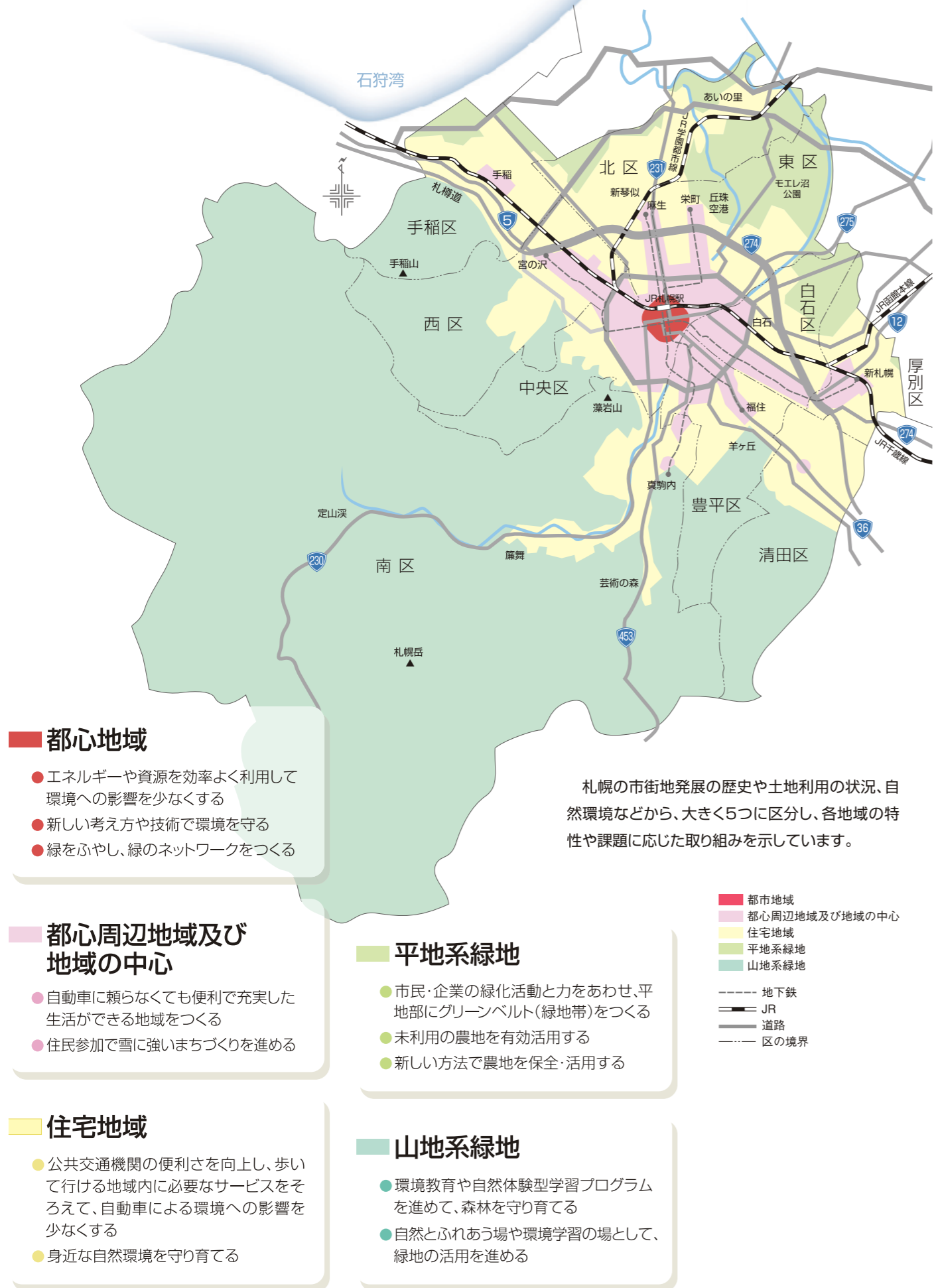


# 地域の特性や課題に応じたとりくみ

【環境基本計画 第4章 地域別の行動指針】



# みんなで進める参加と協働のしくみ

【環境基本計画 第5章 環境基本計画の推進に向けて】

環境基本計画を「計画」に終わらせることなく実現させるためには、市民・企業・活動団体などのみなさんが参加し協働で取り組むためのしくみづくりが欠かせません。そのための体制や進行管理の充実・強化を進めます。

## 市民・企業・活動団体の参加と協働の体制で計画を進めます。

この計画に市民や企業が積極的に参加し、協力しながらともに取り組むを進めていけるように「札幌市環境基本計画推進のための円卓会議(さっぽろ環境円卓会議)」を設置しています。

この会議は、環境保全に取り組む組織(右図参照)からの参加により、計画の進め方の協議や点検・評価を行うとともに、それぞれの組織の成果を結びつける役割も担います。

## 取り組みを支えるしくみを整えます。

市民・企業・行政の取り組みを支えるため、総合的な環境行政システムの整備、環境に関するコミュニケーションや環境影響評価(環境アセスメント)の推進、財源の確保などに取り組めます。

## 継続的な改善・見直しを行い、着実に進行管理を行います。

PDCAサイクル(右図参照)を導入して、計画の進行状況などを点検・評価し、その結果について公表し、市民・企業・活動団体などのみなさんの意見を集め、改善や見直しを行っていきます。

また、計画における目標はおおむね10年、重点的な取り組みなどは5年をめぐりに見直しを行います。

